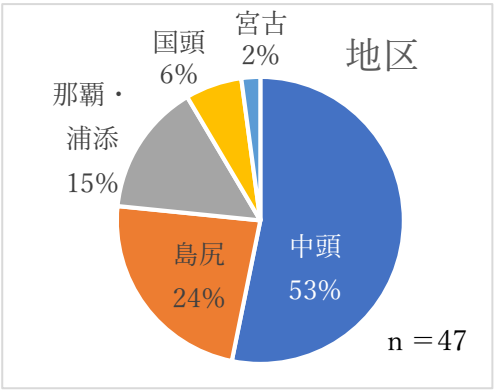
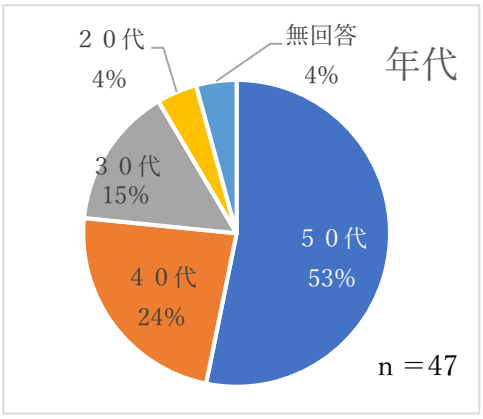
言語学級・通級による指導の担任アンケート結果

調査期間：令和２年 11 月 16 日～11 月 30 日　（47/59 校）

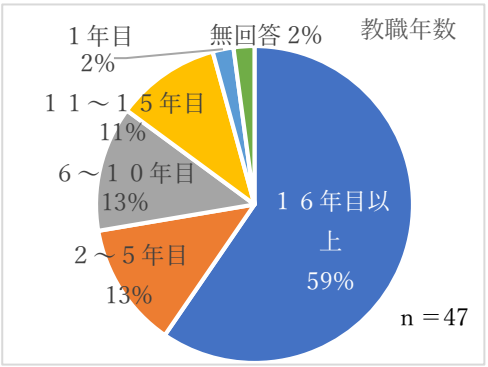
１　地区	
国頭	3
中頭	25
那覇・浦添	7
島尻	11
宮古	1
八重山	0



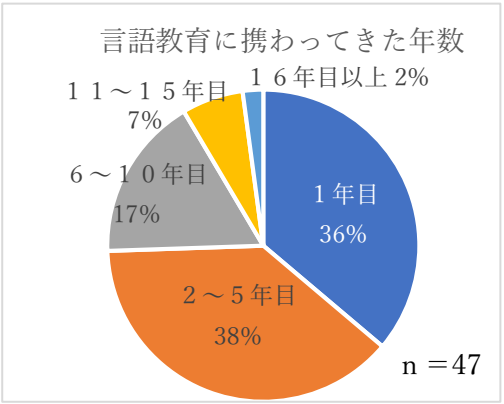
２　年代	
２０代	2
３０代	7
４０代	11
５０代	25
無回答	2



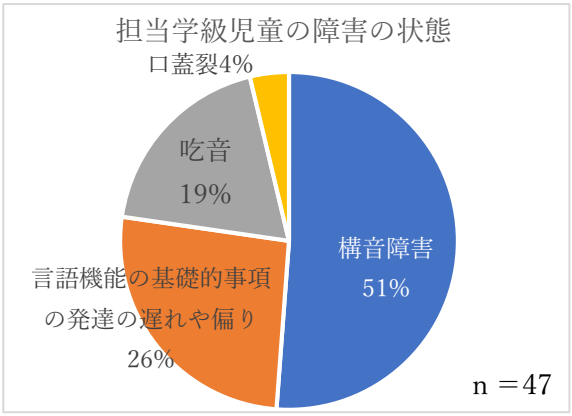
３　教職年数	
１年目	1
２～５年目	6
６～１０年目	6
１１～１５年目	5
１６年目以上	28
無回答	1



４　言語教育に携わってきた年数	
１年目	17
２～５年目	18
６～１０年目	8
１１～１５年目	3
１６年目以上	1

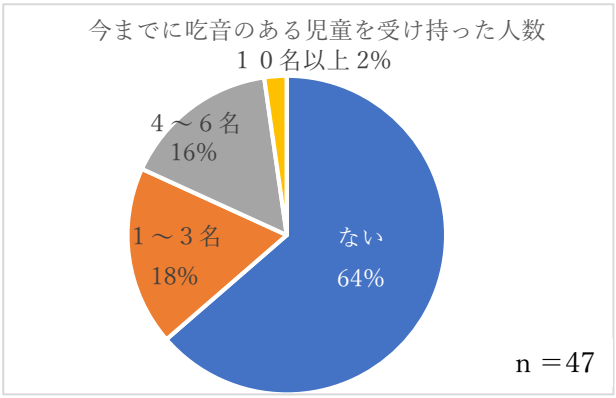


5　担当学級児童の障害の状態（人数）	
構音障害	151
言語機能の基礎的事項の発達の遅れや偏り	77
吃音	56
口蓋裂	11
その他：場面緘黙 1、難聴 3、 発達 3(自閉症スペクトラム等)、	

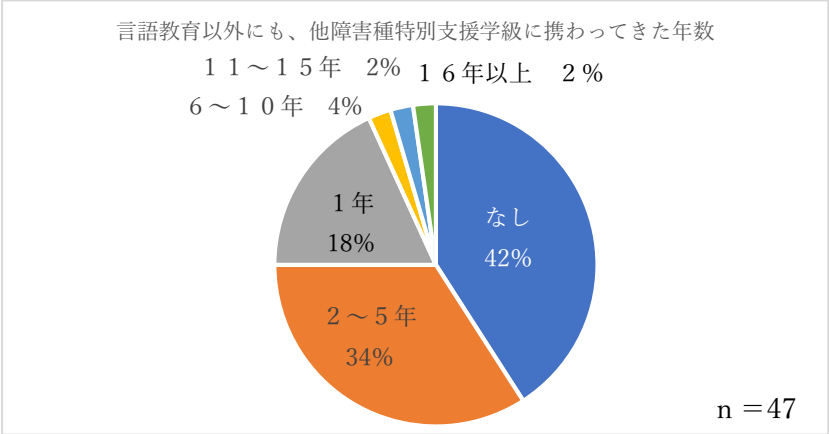


※アンケートに数字の記入があった数を掲載

6　これまでに吃音のある児童を約何名受け持った人数	
ない	30
１～３名	9
４～６名	7
７～９名	0
１０名以上	1

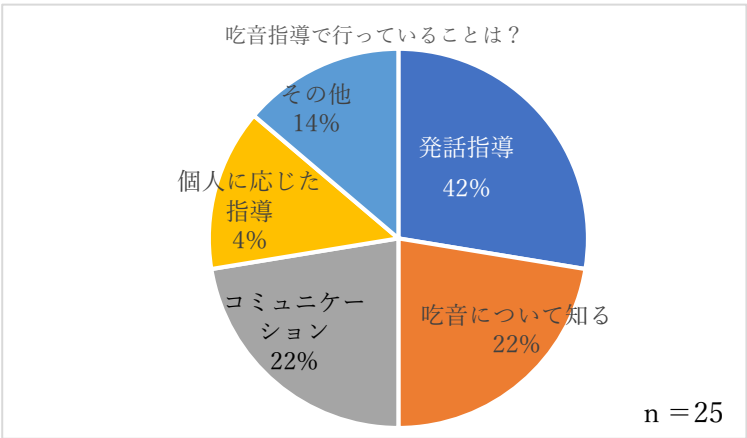


7　言語教育以外にも、他障害種特別支援学級に携わってきた年数	
１年	8
２～５年	15
６～１０年	2
１１～１５年	1
１６年以上	1
なし	20

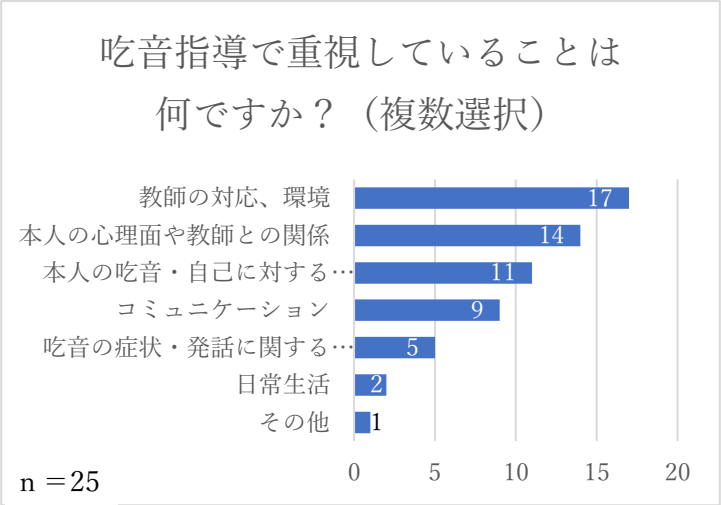


２５校／４７校

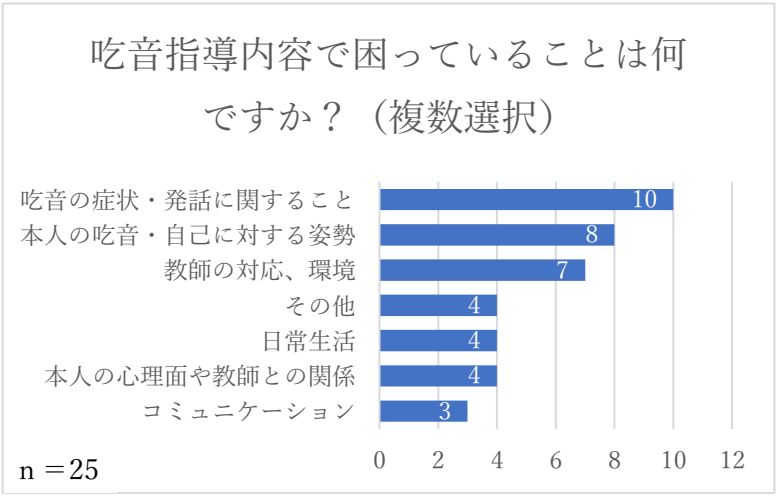
8　吃音指導ではどのようなことを行っていますか？(複数選択)	
①発話指導	16
②吃音について知る学習	13
③コミュニケーションの指導	13
④個人の吃音に応じた指導	8
⑤その他	8
５年の子は①②③④をこれまでの先生がやっていて、本人が望んでいないので様子を見ている。 どもれる環境づくり、吃音理解啓発。口蓋裂のため構音障害もあるため構音指導を中心に行っている。体を動かす運動で発語を促したり、歌を歌いながら指導したり、メトロノームを使ってリズムをとったりしている。 理解啓発、歌を歌う。吃音を個性として捉える。 周りへの理解啓発。本人の好きな活動。	



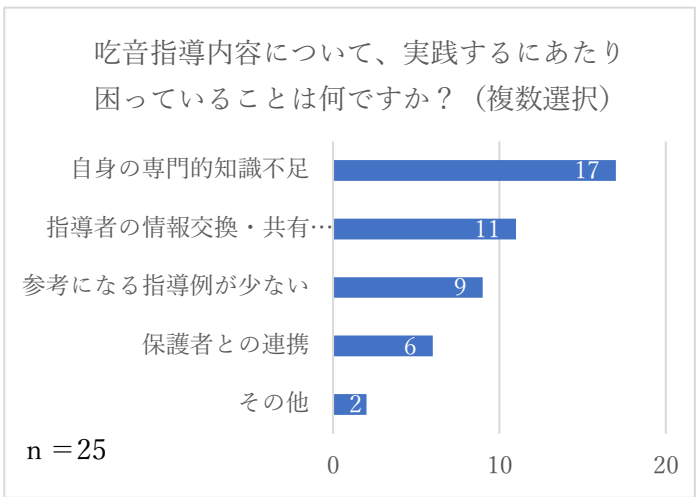
９吃音指導で重視していることは何ですか？（複数選択）	
教師の対応、環境	17
本人の心理面や教師との関係	14
本人の吃音・自己に対する姿勢	11
コミュニケーション	9
吃音の症状・発話に関すること	5
日常生活	2
その他	1
自分を好きになること	



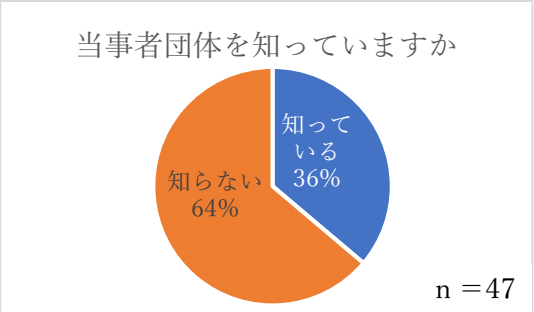
10 吃音指導内容で困っていることは何ですか？（複数選択）	
①吃音の症状・発話に関すること	10
②本人の吃音・自己に対する姿勢	8
③教師の対応、環境	7
④本人の心理面や教師との関係	4
⑤日常生活	4
⑥コミュニケーション	3
⑦その他	4
周りへの説明（理解）。本人への理解もどのように説明していいか分からない。 低学年のため吃音について本人が理解する指導は行ってないが、いつごろから始めようか迷っている。 吃音がほとんど出ないので、言葉遊びやゲームを通して、話をする楽しさを感じられるようにしている。 中学進学に向けての環境に関すること。親の治してほしいという姿勢。子どもが使える本、教材がない	



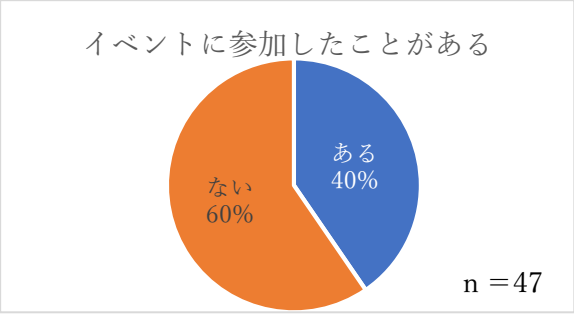
11 吃音指導内容について、実践するにあたり困っていることは何ですか？（複数選択）	
①自身の専門的知識不足	18
②指導者の情報交換・共有の場の不足	12
③参考になる指導例が少ない	10
④保護者との連携	6
⑤その他	2
子どもの困り感をとらえきれない 吃音クイズとか気軽に楽しめて知識になる教材がほしい	



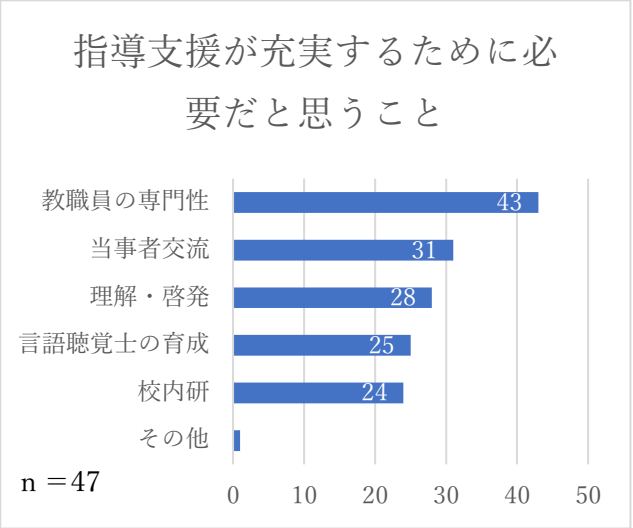
12 沖縄県における当事者団体を知っていますか？	
知っている	17
知らない	30



13 これまでに吃音の勉強会や理解啓発に関するイベントに参加したことがありますか？	
ある	19
ない	28



14 吃音のある児童の指導支援が充実するために、必要だと思うことはなんですか？（複数選択）	
①教職員の言語障害教育に関する専門性	43
④当事者同士の交流	31
③社会全体の吃音理解・啓発	28
②言語聴覚士などの専門性の育成	25
⑤吃音に関する校内研修の実施	24
⑥その他	1
就学前の幼児や保護者が言語聴覚士による訓練や指導を気軽に受けることができるようになること。小学校も含めて。	



15 これまでの吃音指導で、効果的な指導内容
・体験したことを話しやすい環境で伝えてもらい共有させる ・学級の友達が吃音について知り、味方になってもらうことで、安心して話すことができるようになった。 ・ロールプレイ「話し方のくせだから、真似しないで」 ・ゲームや遊び方を教えながら、吃音に対する意識を本人が軽く受け止めるようになった ・得意なことを伸ばす、吃音児との交流（吃音キャンプ）、 ・話し終わるまでしっかり聴く。吃音を認め受け入れる指導 ・好きな絵（工作）などを作って、それの説明を加えてお母さんに向けて発表することで、話す事への練習にもなり、自信をつけることができた。歌やピアノ、詩や俳句の朗読など ・リズムをとると音読しやすい ・親御さんへの説明に吃音キャンプの DVD を利用している。

16　吃音の理解を深めるための保護者との情報共有で、効果的な方法
・吃音キャンプに参加した児童や保護者は、互いの情報交換することで安心感を得ていると感じる ・吃音に関する本や資料を毎週配布している　・言語訓練に参加した ・親子、担任も一緒に吃音キャンプに参加し学ぶことができた ・保護者用ファイルを作成し、月に一度資料を入れて読んでもらっている。 ・質問なども受け付けている。 ・本の紹介　・学級懇談会・学習内容を記入したファイルを通して、その子の良さを伝えること